

神奈川県立秦野支援学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

会議名称	令和7年度 秦野支援学校 第1回 学校運営協議会
開催日時	令和7年5月27日 9時30分～11時20分
開催場所	秦野支援学校 落合校舎2階会議室
出席者	運営協議会委員(本校校長含む) 9名 ※欠席者1名 事務局教職員 13名
会議資料	第1回秦野支援学校学校運営協議会次第、秦野支援学校ランドデザイン、令和6年度学校評価報告書(実施結果)、令和7年度学校評価報告書(目標設定)、学校運営協議会 部会の位置づけ、令和7年度 学校目標の設定について、令和7年度不祥事ゼロプログラム、各グループ、部門・課程の取組の重点
議事録	<p>1 学校長挨拶</p> <p>2 学校運営協議会委員、委員の委嘱並びに自己紹介、会長選出、会長挨拶</p> <p>3 事務局より 自己紹介、学校運営協議会、部会の位置づけについて</p> <p>4 協議</p> <p>① 令和7年度学校経営について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会の流れが変わっていく中でも挑戦しようとする児童生徒を育てたい。</li> <li>・地域の中で児童生徒が活躍できる、参加しやすい環境と防災体制を作りたい。</li> </ul> <p>② 令和7年度学校評価(目標設定)、不祥事防止ゼロプログラム、各グループ・部門課程の取組の重点について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントを有効に活用した指導、ICT機器の活用の充実、主体的な学びを引き出す指導の工夫、専門職および支援担当と連携した指導体制、段階に応じた課題設定と自己選択、学齢に応じた進路支援についての保護者との情報共有、交流及び共同学習の取組の拡大、地域資源を活用した学びの場の拡大、安全安心な教育環境の整備、働きやすい職場環境の整備等を目標に掲げて取り組んでいく。</li> </ul> <p>&lt;質問、意見、感想等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の小中学校での進路指導について課題を共有して、支援学校の取組を伝えていくことはよい取組である。</li> <li>・Cかもめのスムーズな復学、E高等部の卒業後の生活を見据えた指導、F末広の小学校との交流、G部門での医療的ケアのマニュアルの見直し、マネジメントGの「リスクを予測し、未然に防止」についてもよい取組であり充実が望まれる。</li> <li>・卒業後の生活を見据えた指導として、性教育、反社会行為のリスクなど指導していく必要がある。</li> <li>・夏野菜を生徒と一緒に植える活動を行い、とうもろこしの苗を生徒がほぐしながらそっと植えている姿に感動した。</li> <li>・勝ち負け、白黒つける場面がある中で、支援を必要とする子どもたちの指導のあり方は大切に考えていきたい。個の生徒にとってどうなのかが大切であり、他者と比べるという指導ではない。一方社会に出れば、競争の場面は出てくる。その中で自分をどう出していくのかということも課題になる。</li> <li>・小中学校の交流の場面で、「どうして寝てるの?」「どうして車いすなの?」という小さい子どもの時に知ることは大切。多様性と言われているけど、知る機会がない。交流は地域の学校にとっても学びになる活動。</li> <li>・支援級の担任と、中学、高校、社会人になっていく進路のイメージを共有していければありがたい。</li> <li>・ICT機器の活用や情報リテラシーについてどう指導していくかも大切である。</li> <li>・学校の取組として、引き継ぎがしっかりなされていることが感じられる。</li> <li>・小学校で本格的に交流が進められているのは3年。1年生から支援学校との交流を進めていた3年生の児童はとてもやさしい、支援級の児童にも苦手なことをフォローしてあげている。本人たちは優しさとは思っていない、当たり前と思っていることが成果。数値では表せない。</li> </ul> <p>5 事務連絡 次回 10月30日(木)</p>